

I 学校の概要

外国語教育推進モデル校事業

丸亀市立飯山中学校

◆生徒数及び教員数

○生徒数

第1学年	第2学年	第3学年	特別支援	全 校
4学級 134名	4学級 134名	4学級 137名	4学級 19名	16学級 424名

○教員数 40名

◆学校の特色

本校では、令和6年度に、丸亀市内の他の中学校に先がけてオンライン英会話を実施した。具体的には、2～3人ずつがグループになり、各学年で英会話練習を5回実施した。内容は、食事やスポーツなどの身近な題材を使った短いフリートークから始めて、その時点で学習している文法事項を使った音読練習や口頭での英作文練習を行った。今年度も各学年で3回ずつ実施する予定である。

オンライン英会話に臨む生徒の様子は、真剣な表情で画面を注視したり、講師の話を聴いたりして、講師の質問に反応しようと努めていた。活動を通して、回を重ねるごとに聞き取れるようになっていたり、言いたいことが英語で伝わったと充実感を得たり、会話を続けるにはもっと英語力をつける必要があると学習意欲が増したりして、海外の人とのリアルな会話に対しての心理的な負担は少なくなり、興味関心が高まった生徒が多かった。本事業を通して、昨年度高まった英語で会話することに対する意欲をさらに高め、実践的な場面で生かせる英語力の向上につなげたい。

II 研究主題等

「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動 及び

生徒の学習意欲を高める指導の在り方の工夫

◆研究主題設定の理由

昨年度に実施したオンライン英会話での生徒の感想では、自分の伝えたいことが英語で伝わった喜びを実感できた生徒は多くいたが、一方で、自分の考えや思いをうまく伝えられずに、「分からない時に“もう一度言ってください”と頼みたい」「次は自分から質問をしてみたい」「相づちや反応を自然にできるようになりたい」と、自分の課題や目標を主体的に意識できた生徒も多く見られ、具体的な場面をイメージして活動や学習に取り組むようになったと感じた。

昨年度に行ったオンライン英会話では、大人の講師との対話であったため、生徒の返答やつまづきを予想し対応してくれた。しかし本事業では、海外の中学生とリアルタイムでやり取りを行うため、楽しみが大きい反面、不安な要素も多くある。オンライン英会話では、相手と同じ目標に向かって意見交換や課題解決が行われることを前提としているので、本研究主題を設定し、生徒の英語による発信力の向上や英語学習への意欲向上を目指したい。

◆研究内容及び方法

- 1 丸亀市内の全中学校行っている、年3回の、大人の講師とのオンライン英会話の実施
- 2 本事業による、年2回の、海外の中学生とのオンライン英会話の実施
- 3 1・2の実施を通して、英語によるコミュニケーション能力を育成
- 4 「やりとり」、「即興性」を意識した言語活動の工夫
- 5 国際交流前・中・後の授業立案（単元計画）および実施、フィードバック
- 6 評価方法の研究（授業後のアンケート、授業観察、パフォーマンステスト等）

Ⅲ 成果の評価計画（検証方法）

- 1 英検 IBA の結果分析（経年変化の観察）
- 2 授業前後のアンケートや振り返りシートの内容分析
 - 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」
 - 「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」

Ⅳ 研究成果の普及方法

- 1 県内の中学校等にオンライン授業を公開する。
- 2 「香川の教育づくり発表会」で研究内容を報告する。
- 3 香中研英語部会・丸亀支部の取組として研究内容を報告する。
- 4 小中地域連携を活用して、飯山中学校に接続する小学生に活動を伝え、外国語教育の意識を高める。